

遊煩惱林

平成三十年
春季彼岸

春季彼岸会 結願法要

左記のとおり春季彼岸会法要を

はご予約ください。

お勤めいたします。皆様お誘いあ
わせの上賑々しく御参詣下さい

三月二十四日（土）

午後一時より

衆僧総供養読経
法話

おとき（婦人会の皆様の手作りの

お食事です）

三月十八日から二十四日までお彼岸
です。この間お寺もしくはご自宅で
の読經供養を致します。ご希望の方
はご予約ください。
尚十八日（日）、二十一日（水）の2
日間は、お寺にお参りの方に限り、
ご参詣になつた順にお勤め致します
ので予約は不要です。その他の日は
住職、副住職共に外に出ていること
が多いので必ず時間の予約をお願い
いたします。二十四日（土）は結願
法要の為戸別のお勤めはできません
＊お寺にご遺骨をお預けの方は期間
中必ずお参り下さい

彼岸への道ひらかれて

老いて病む身にも聞える

本願召喚の聲

金子大栄と言うお念佛の先学の言葉です。

お寺にお参りの時にこの言葉が書かれた掛け軸に気づかれた方もいらっしゃるでしょう。伯父（父の兄）が書いてくれたものです。二人の弟を相次いで亡くし糖尿病により心臓を患っていた伯父にはこの言葉が実感として響いていたのでしよう

「本願召喚」難しい言葉ですが「本願」はいつの時代も誰でも全ての衆生（生きとし生ける）ものを救い取り見放さないという願い。「召喚」は救いの現場である浄土に生まれようと呼び招くこと。ただし「喚」は叫ぶ、大声で呼ぶことです。

わが身の生末を恐れ、悩み、迷う私たちに「安心してその道を行け！必ず私の居る浄土に生まれよ！」と大きな声で呼びかけて下さっている。そんな意味です。しかし、残念なことに意味は解つても実際はピンときません。

この言葉を教えてくれた伯父はこの正月二日にお浄土に還りました。学生時代は伯父のお寺の近くに下宿していましたので大変世話になり、また最近でも顔を見に行くと帰りしなに「よう来てくれたな」と五十過ぎの私に子供の頃のように

お小遣いを下さる伯父でした。

伯父が亡くなつて間もなく、一周忌のご法事で伺つたお宅での事です、お経が始まる前おうちの方が準備をしている時そのお宅のご主人（我が父と同年代）がご子息（私と同年代）に「おまえ、ナニナニ」と呼びかけられました。その「おまえ」という呼びかけ声を耳にした時、一瞬にして父の声を思い出し何かとても懐かしい様な嬉しいような寂しい様ななんとも言ひ表せない感情が生まれました。普段何気なく友人や兄弟間で使う「おまえ」と言う言葉です。同じ「おまえ」と言う呼びかけにも意味あいが違う沢山の「おまえ」があります。私が感じ入った「おまえ」にはその声のトーン、ニュアンス、響きは親だから出せるものがありました。

伯父が亡くなり、この婆婆では私を「おまえ」と呼んでくれる人はいなくなりましたがその死をとおしてあらためて耳底に残る父の聲が甦りました。そして、ああこれが仏の呼び聲であつたかと腑に落ちました。

お彼岸です。一緒に念佛し仏さまの聲に耳をかたむけましょう

合掌

金子

「歎異抄（たんにしよう）」をきっかけにして、一緒に「自分」を話してみませんか！

毎月5日に開催している「歎異抄を読み聞く会」。

2年間開催をしてきました、色々と、日常のことや、悩んでらっしゃること、抜け出せない悲しみと苦しみ、気付かないうちに抱えていた怒りや苦しみや悲しみ、そうしたお話をうかがうことができました。声を出して歎異抄を読んでみて、日ごろ人前で話すのが苦手な方でも、「最初に声を出してみたことがきつかけで話せる」ということがあるんだな、と、非常にいい体験と気付きをいただけています。

4月から、改めて、はじめから読んでまいります。

この会は、勉強会ではないので、内容についてどうのこうのと研究するようなことはしません。あくまで、「自分」というものを語つてみると、「自分」についての気付きをもらつていこうという会です。私事で言わせていただければ、この会を初めて、自分自身のエゴ、虚栄心、プライドの高さ、知ったかぶりつ子性、を見つめさせられ、逆に、無

知を思い知らされています。あと自信の無さも。「それでいいんじやない。てか、虚勢張っているよりか、無知さらけ出しているときのほうが話しやすいよ」と、言われているような雰囲気に参加されている皆さんができるだけさつていてことに甘え、感謝しながらも、それでも虚勢張りたくて素直になれない自分であることも気付かせてもらっています。

とてもいい会ですので、是非、皆さん、お気軽にご参加ください！

開催日時 每月5日（1月・8月はお休み。9月は諸事情により今年は4日）

午後2時～4時

写真サークル「ゆるゆる」

再開1回目のご案内！！

前号で御案内させていただきましたが、2年に亘り休会していました写真サークル「ゆるゆる」を再開いたします。

開催は下記の通りです。
詳細、参加ご希望の方、興味がある方は副住職まで。

記

4月3日(火) 13時頃～
浅草近辺を撮り歩きます

以上
副住職

娘のお弁当をちょくちょく作る。今どきの女子高生の流行りなど知るよしもなく（昔の流行りも知らないが）よつて自分が高校生なら嬉しいおかず、即ち肉、肉、揚げ物、炒め物、油だ！野菜なんか家で食べればよい！そんな内容なのでさすがに可哀想なので妻が盛り付けだけは彩りよくする。因みに私が盛り付けすると食欲が失せるそうだ。

一応年頃なのでよほど美味しかった時以外何のコメントもない。すると私は反応が欲しくて大人げないおかずを作るのだ。

竹輪に、いつもは野菜ステイックとか明太子とか美味しいものを詰めるのだが先日は何にしようかなとスーパーの棚を物色していると目に入つたのはポテロングというスナック菓子「これね！」早速翌日の竹輪に詰めてやつた。どんな反応があるか楽しみだった。しかし残念なことにあれは芋の粉スカスカに成型して乾燥させたものだからお弁当箱内の湿気で溶けて無くなつてたと。味はお菓子みたいでおいしかつたと。ちくしょー 今度は弁当箱のフタを開けた途端閉めたくなるようなおかげ考案してやる。まつ、私が盛り付けすればいいんだけどね。

住職からのお願い

今東京では火葬場が不足しています。皆さん「経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまします。その為」「法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることがある

ります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとつて一生の一大事です。そこは相身互い、どうかご寛恕下さいますようお願い致します

定例行事

聞法会 每月2日夜7時から 現在、鉛筆写経（親鸞和讃）とお話、座談会をやっています（1月、8月はお休み）

歎異抄を読み聞く会「微妙音」 每月5日午後2時
十一月はお休みします

白色自光の会（婦人会）毎月第2木曜午後1時
お経（正信偈）の練習と法話と茶話会

「照久会」淨土真宗初めて講座 二月、四月、六月、十月、十二月の第2土曜午後2時より5時まで（参加費 2千円、照久会会員は千円）講師 聞成寺 佐竹貫裕師

仏像なぞり書き「仏像描くぞう」

第2水曜 夜7時半と月の最終日曜朝9時からやつてます。
参加費三百円（初回のみ別途テキスト代千円）

服部源正寺

練馬区石神井町3017の4
03-3996-2064